

診療放射線技師レジデント制度の背景と経緯

国立がん研究センターの世界をリードする先進的ながん診療の中で、放射線技術学はさらなるレベルアップが要求され、専門性の高い診療放射線技師の必要性が高まっています。国民・患者の期待に応えるためには多くの有為な人材が不可欠です。

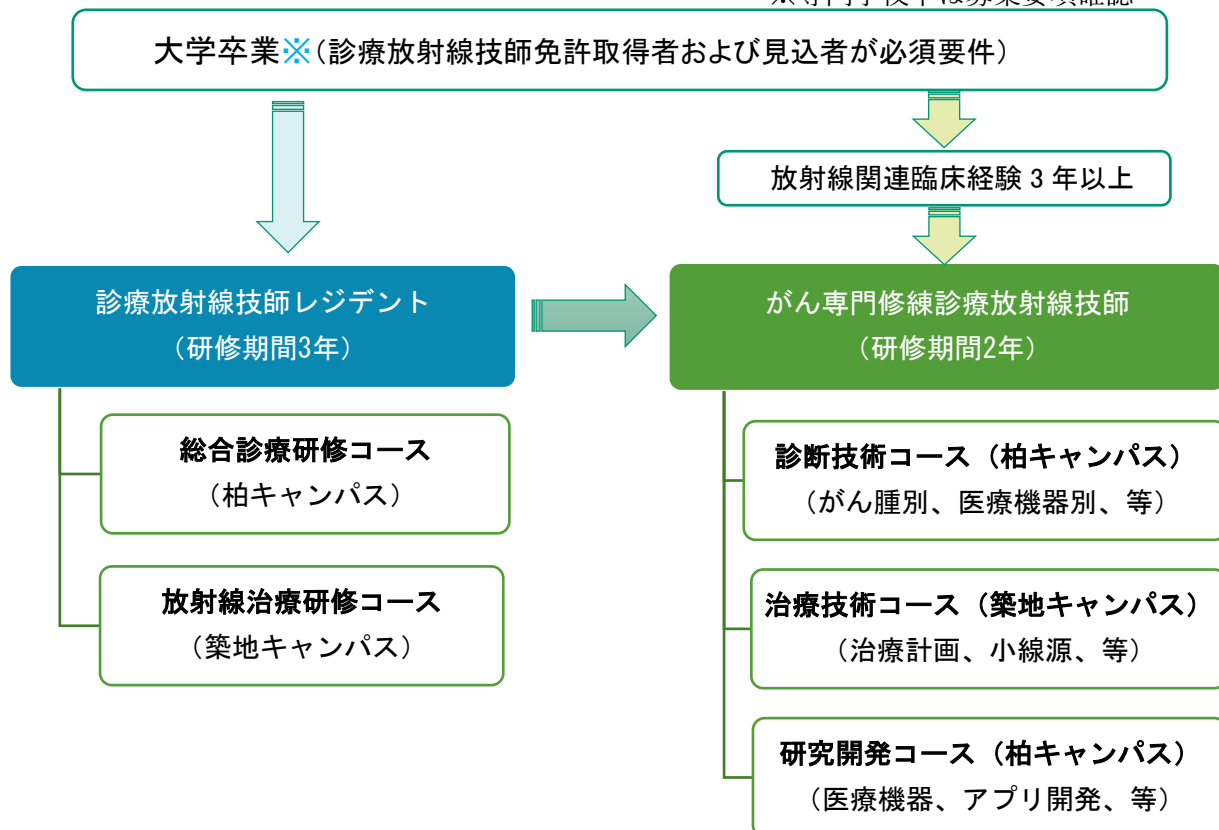
本レジデント制度はがん医療の均てん化ならびに発展と拡充を図り、国民の命と健康保全に繋げるため、専門性の高い知識と技術を有する診療放射線技師を養成し輩出することを目的としています。

診療放射線技師レジデント制度・修練制度の概要

3年間の診療放射線技師レジデント制度では、がん診療における基礎的な知識と放射線技術を幅広く習得します。がん専門技師基礎コースとして2つのコースがあり、「放射線治療研修コース（築地キャンパス）」と「総合診療研修コース（柏キャンパス）」のどちらかを選択します。2年間は共通カリキュラムに沿って履修し、残りの1年間はコースの専門性に特化したカリキュラムを履修します。

2年間のがん専門修練診療放射線技師制度では、専門性の深化と研究を中心に「診断技術コース（柏キャンパス）」「治療技術コース（築地キャンパス）」「研究開発コース（柏キャンパス）」の3つのコースから選択することができます。3年間のレジデント課程終了後、2年間のがん専門修練診療放射線技師制度に応募することができます。自主性を尊重し、臨床・研究・開発の各分野で活躍できる診療放射線技師の育成を目指しています。

※専門学校卒は募集要項確認



診療放射線技師レジデント制度の内容

●到達目標

- ・がん診療における診断・治療および医療安全管理の基礎的な知識と技術を習得する
- ・多職種との連携を学び、チーム医療を実践する
- ・専門性を重視した自身の将来設計を計画する

●研修の目的

○総合診療研修コース（柏キャンパス）

診療放射線技師は進化する診療ニーズに放射線技術をもって最適化を進めるとともに、多くの分野（顔認証技術による患者認証、国際規格に準じた放射能管理、AIを応用した検像、薬事未承認の次世代画像診断機器、等）において、企業との共同研究契約の下でアプリケーション開発に参画しています。

総合診療研修コースの目的は、放射線診断・治療における基本的な技術習得のみならず、他部門・部署で働く技師をカウンターパートとする研修や開発サイトでの研修が含まれています。治験コーディネーター室では円滑な治験運用のための検査日程調整や医療機器の QC/QA の関連性を学びます。また倫理審査事務室、医療情報部、診療情報管理室では、医療情報、研究計画や倫理、さらには医療保険制度などの基礎知識を学び、がん診療における総合力を身につけます。

○放射線治療研修コース（築地キャンパス）

がん専門病院である当施設の放射線治療環境・設備を最大限に利用し、放射線治療専門家として照射、品質管理、放射線治療計画で力を発揮できる診療放射線技師の養成に重点を置いたコースです。また、放射線治療科、医学物理部門や放射線診断部門と共同し、放射線腫瘍学の知識、医療安全や品質管理に必要な倫理的思考力の醸成、放射線治療計画に必要な画像解剖学や各疾患に関する理解を深めます。放射線治療領域を軸に、がん診療全般への理解を深め、他の分野にも応用可能な知識と思考力を身につけることが目的です。

●研修内容

○総合診療研修コース（柏キャンパス）

本コースでは、がん診療における診療放射線技師としての一般的な業務の他、臨床研究に携わる医療従事者として、幅広い知識・技術が習得できるようスケジュールが組まれています。

研修開始から 2 年をかけて、がん診療における画像診断検査部門（一般撮影、病棟・手術ポータブル撮影、消化管検査、IVR、CT、MRI、RI、超音波検査）と放射線治療部門（治療計画 CT、光子線治療、陽子線治療、小線源治療、治療計画）のすべてをローテーションし、オン・ザ・ジョブ・トレーニング (On-the-Job Training: OJT) で放射線技術を習得します。この間には柏キャンパスでは経験できない特殊な医療機器（PET/MRI、MRI-LINAC、BNCT 等）での業務を築地キャンパスで研修します。

3 年目に入り、第一四半期で院内の各部署（医療機器開発センター、医療安全管理室、医療情報部、臨床研究コーディネーター室、倫理審査事務室、診療情報管理室、等）に訪問し、院内各部署で働く診療放射線技師をカウンターパートとして研修します。第二四半期からは病院から外に出て研修（外部研修：特許庁、AMED、共同研究契約企業、等）を行いながら、研究テーマや適正に合わせて、自身が希望する部署で研修を重ねていきます。

○放射線治療研修コース（築地キャンパス）

診断部門では最新技術が搭載された高度画像診断機器によるがん診断が行われています。放射線治療の専門性を高めるうえで、画像診断の知識は不可欠です。診断分野の総合撮影検査、消化管検査、血管造影検査、CT、MRI、RI 検査の研修もおこない、がん診療全般を修得していきます。

治療部門では照射業務を通じて、位置決め撮影（CT シミュレーション）、固定具作成、3 次元原体放射線治療、定位放射線治療、強度変調放射線治療、画像誘導放射線治療、画像誘導小線源治療など緩和的照射から根治照射、高精度放射線治療、即時適応放射線治療、全身照射まで多岐にわたり研修することができます。また日本でも数少ない特殊装置による治療にも携わることが可能です。照射業務に加えて、装置管理、線量管理、患者線量検証などの安全管理について経験豊富なスタッフより学べます。医師、医学物理士、看護師とチームで連携しながら治療を進めていきます。その中で、診療放射線技師がどのようにして役割を果たし、専門性を発揮しているのか、業務を通して専門スキルを学びます。

●講義による研修（両キャンパス共有）

診断と治療の両分野で基礎から臨床まで、毎月 Web による配信または会議室での少人数開催を予定しています。＊両キャンパス交流期間は休講＊

講義テーマ（1回／月）	月																																						
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34					
ボジショニングについて（MMG含む）	■																																						
病棟撮影について		■	■																																				
症例検討			■	■																																			
上部消化管検査について				■	■																																		
下部消化管検査について					■	■																																	
透視下内視鏡検査について						■	■																																
CT装置概要とCT画像							■	■																															
CT検査における被ばくと造影理論								■	■																														
胸部・腹部領域におけるCT検査									■	■																													
頭頸部領域におけるCT検査/急性期疾患										■	■																												
MRIの原理と安全管理											■	■																											
がん診療・治療におけるMRIの役割												■	■																										
頭頸部に関するMRI検査													■	■																									
腹部に関するMRI検査														■	■																								
IVR概論															■	■																							
血管系IVRについて-TACEを中心に-																■	■																						
非血管系IVRについて																	■	■																					
核医学概論																		■	■																				
がん診療における核医学検査の役割																			■	■																			
がん治療における放射線内用療法について																				■	■																		
放射線治療概論													■	■							■	■																	
放射線治療機器の構造と原理（リニアック）														■	■							■	■																
固定具について															■	■							■	■															
治療計画CTについて																■	■							■	■														
治療計画のプランチェック																	■	■							■	■													
MU計算																		■	■							■	■												
患者セットアップ																			■	■								■	■										
照射について																				■	■									■	■								
測定機器の構造と原理																					■	■									■	■							
放射線看護学																							■	■								■	■						
過去の事故、事例から学ぶ																								■	■							■	■						
緊急時対応																									■	■							■	■					
線量校正の実際																										■	■							■	■				
安全管理																											■	■							■	■			
治療で用いる統計、不確かさ																												■	■						■	■			
MRI誘導放射線治療、即時適合型放射線治療																													■	■					■	■			
小線源治療の実際																														■	■				■	■			
IGRT技術																															■	■			■	■			
放射線防護																																■	■			■	■		
特殊治療(TBI, TSET)																																	■	■			■	■	

■ 放射線診断領域

■ 放射線治療領域

[illegible]

●スケジュール

○総合診療研修コース（柏キャンパス）

モダリティ別に月単位でローテーション、3年目は主に希望のモダリティで研修

[illegible]

○放射線治療研修コース（築地キャンパス）

1・3年目は治療部門に専従、2年目に5か月間の診断部門研修あり

	1 年目												2 年目												3 年目											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36
解剖・病理 等(各モダリティを含む)																																				
総合撮影検査(一般・マンモ)																																				
CT検査																																				
MRI検査																																				
IVR検査・治療																																				
透視検査																																				
核医学検査																																				
放射線治療																																				
関連法規等の管理																																				
各診療科・院内各所研修 (築地キャンパス、柏キャンパス、研究所)																																				

築地キャンパス・モダリティ別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	外部照射	外部照射	外部照射	外部照射	外部照射	外部照射	外部照射	高精度照射	高精度照射	高精度照射	高精度照射	高精度照射
2年目(診断部門は5か月)	高精度照射	高精度照射	CTsim	一般/マンモ	一般/マンモ	CT	消化管・IVR	MRI	治療計画	柏・外部研修	柏・外部研修	高精度照射
					CT		MRI	核医学				
3年目	高精度照射	高精度照射	高精度照射	高精度照射	高精度照射	高精度照射	高精度照射	高精度照射	特殊治療	特殊治療	密封小線源	密封小線源

●カリキュラム

共通カリキュラム（2年間）＋ 各コースに特化したカリキュラム（1年間）

共通カリキュラム（2年間）	
履修項目	項目内訳
解剖・病理等 総合撮影検査 CT検査 MRI検査 IVR検査・治療 透視検査 核医学検査 放射線治療 関連法規等の管理 各診療科・院内各所研修 （築地キャンパス、柏キャンパス、研究所） 両キャンパス交流研修（3か月間） 外部機関研修 医療機器学の基礎・基礎プログラミング シミュレーション技術	骨格・血管・神経・機能・生物・免疫・病理・薬理 等 検査理論・機器管理工学 等 検査理論・造影剤理論・機器管理工学 等 検査理論・造影剤理論・機器管理工学 等 検査理論・機器管理工学・検査に使用する放射線以外の機器管理 等 検査理論・機器管理工学・検査に使用する放射線以外の機器管理 等 放射線物理学・機器工学・画像工学 等 放射線物理学・腫瘍学・病理学・薬理・解剖学・機器工学・機器管理工学 等 医療法、放射性同位元素等の規制に関する法律、労働安全衛生法 等 内科系・外科系・薬剤部・検査科・看護部・治験管理室 等 各キャンパスにのみ設置されている装置等に関する研修 国内外の研究施設・臨床病院・医療機器製造・開発メーカーへの見学研修 等 機器工学・画像工学・薬理・Webアプリ・python等の研究開発に必要なプログラミング技術等 PHITS（モンテカルロ）・CAD 等

コースに特化したカリキュラム（1年間）	
履修項目	項目内訳
【総合診療研修コース】 カウンターパートとの連携強化 企業との共同研究事業の補助 研究計画や倫理知識の習得	他部門・部署に配属された技師より放射線技術との関連性を学ぶ 企業との共同研究契約の下でアプリケーション開発に参画 研究に必要とされる知識など幅広く学ぶ
【放射線治療研修コース】 外部放射線治療装置の管理 高精度放射線治療技術の習得 外部放射線治療計画の習得	各装置の性能を考慮した精度管理を行う 高精度放射線治療を実現するために必要な技術を学ぶ 外部放射線治療計画プラン作成することにより腫瘍制御と副作用について学ぶ

- ## ●スケジュール

○研究開発コース（柏キャンパス）

	1年目												2年目											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
解剖・病理 等																								
総合撮影検査																								
CT検査																								
MRI検査																								
IVR検査・治療																								
透視検査																								
核医学検査																								
放射線治療																								
関連法規等の管理																								
各診療科・院内各所研修 （築地キャンパス、柏キャンパス、研究所）																								
外部機関研修																								
機器・アプリ開発																								
シミュレーション技術																								

診療放射線技師の業務

○診断部門

放射線診断業務は一般に 3 つに大別されます。いずれの業務も多職種が協働してはじめて最適な医療が患者さんに提供されます。

【画像診断検査業務】

画像検査は様々な診療科より電子カルテシステム上の病院情報システム（HIS）を利用し、検査依頼を受けて始まります。放射線 部門システム（RIS）で依頼内容を確認し、放射線診断医とともに 適応判断を行います。疑問が生じた場合は、オーダー医師に疑義 照会を行います。

適応判断後、看護師とともに患者さんに検査内容の説明・確認を行い、適宜前処置（たとえば静脈ルート確保など）を済ませ、検査目的に最適な検査プロトコルで実施します。収集した画像データは画像処理後、検像システム



でオーダー内容との整合性を確認し、医療用画像管理システム（PACS）に送信します。

放射線診断医は放射線読影レポートシステムで読影を行い、レポートを確定します。オーダー医は電子カルテで画像とレポートを閲覧することが可能になります。

【医療機器管理の安全管理】

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（医薬品医療機器等法）に定められた医療機器は、安全に使用できるよう、その体制の確保について医療法、及び医療法施行規則で規定されています。

各医療施設では医療機器安全管理規程を策定し、これに従って医療機器管理が実施されます。ここでは詳細は触れませんが、医療機器管理の日常的な業務フローの概要をご紹介します。

医療機器の取り扱いとは始業時の点検から始まります。専用の管理シートを利用し、各チェックポイントについて異常の有無を確認します。異常が無ければ管理シートにサインし、画像診断検査業務が開始されます。一方で、異常があった場合は速やかに上長に報告し、保守契約に基づいてベンダーによる修理が行われます。修理後、異常が解消されたことを使用側が確認し、検査業務が行われます。また、検査の途中でも異常をきたすことは多くありますので注意が必要です。

最終的に修理が完了し、ベンダーの作業確認書にサインを行うとともに、使用者側も機器の修理状況を文書化し記録・保存します。また終業時の点検は次の使用、たとえば時間外での使用の備えとなります。

これらの状況は、計画的な保守点検の結果状況等も含めて、定期的（たとえば、毎月）に医療機器安全管理者に報告し、議事として残します。



【診療用放射線の安全管理】

病院における診療用放射線に係る安全利用のための体制を確保するために関連事項を定め、適切な線量管理の下に放射線診療における医療事故を防止し、あわせて医療の安全を確保することが、医療法、及び医療法施行規則で規定されています。

診療用放射線の安全管理は、前述した医療機器の安全管理と対と言ってもよいでしょう。対象を患者等の医療被ばくとして置き換えることで理解が容易になります。各医療施設では、診療用放射線の安全管理規程を策定し、これに従って医療被ばくの管理が実施されます。ここでは詳細は触れませんが、医療被ばくの管理の日常的な業務フローの概要をご紹介します。

放射線画像検査の実施により線量情報が DICOM で規定される放射線線量構造化レポート（RDSR: radiation dose structured report）ファイルとして生成されます。RDSR ファイルは放射線線量指標監視ソフトウェア（RDIMS: radiation dose index monitoring software）に転送され、自動的に統計解析が行われます。統計解析は、毎月、装置別と患者別に分けて行います。

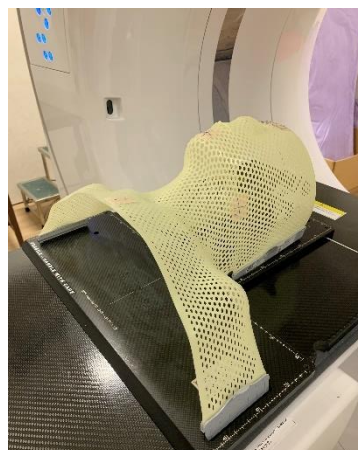
装置別では典型的な検査プロトコルについて、日本の診断参考レベル（National diagnostic reference levels in Japan: DRLs）と比較して、明らかに超えるようなプロトコルがないかを確認します。

A photograph showing three medical students in white lab coats and face masks working at a long desk with multiple computer monitors. The student in the foreground is a woman with a ponytail, focused on her work. Behind her, a man and another woman are also working, with the man pointing at a monitor. The setting appears to be a modern medical education facility.

CT	1998年										1999年		2000年		2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年	2039年	2040年	2041年	2042年	2043年	2044年	2045年	2046年	2047年	2048年	2049年	2050年	2051年	2052年	2053年	2054年	2055年	2056年	2057年	2058年	2059年	2060年	2061年	2062年	2063年	2064年	2065年	2066年	2067年	2068年	2069年	2070年	2071年	2072年	2073年	2074年	2075年	2076年	2077年	2078年	2079年	2080年	2081年	2082年	2083年	2084年	2085年	2086年	2087年	2088年	2089年	2090年	2091年	2092年	2093年	2094年	2095年	2096年	2097年	2098年	2099年	2100年	2101年	2102年	2103年	2104年	2105年	2106年	2107年	2108年	2109年	2110年	2111年	2112年	2113年	2114年	2115年	2116年	2117年	2118年	2119年	2120年	2121年	2122年	2123年	2124年	2125年	2126年	2127年	2128年	2129年	2130年	2131年	2132年	2133年	2134年	2135年	2136年	2137年	2138年	2139年	2140年	2141年	2142年	2143年	2144年	2145年	2146年	2147年	2148年	2149年	2150年	2151年	2152年	2153年	2154年	2155年	2156年	2157年	2158年	2159年	2160年	2161年	2162年	2163年	2164年	2165年	2166年	2167年	2168年	2169年	2170年	2171年	2172年	2173年	2174年	2175年	2176年	2177年	2178年	2179年	2180年	2181年	2182年	2183年	2184年	2185年	2186年	2187年	2188年	2189年	2190年	2191年	2192年	2193年	2194年	2195年	2196年	2197年	2198年	2199年	2200年	2201年	2202年	2203年	2204年	2205年	2206年	2207年	2208年	2209年	2210年	2211年	2212年	2213年	2214年	2215年	2216年	2217年	2218年	2219年	2220年	2221年	2222年	2223年	2224年	2225年	2226年	2227年	2228年	2229年	2230年	2231年	2232年	2233年	2234年	2235年	2236年	2237年	2238年	2239年	2240年	2241年	2242年	2243年	2244年	2245年	2246年	2247年	2248年	2249年	2250年	2251年	2252年	2253年	2254年	2255年	2256年	2257年	2258年	2259年	2260年	2261年	2262年	2263年	2264年	2265年	2266年	2267年	2268年	2269年	2270年	2271年	2272年	2273年	2274年	2275年	2276年	2277年	2278年	2279年	2280年	2281年	2282年	2283年	2284年	2285年	2286年	2287年	2288年	2289年	2290年	2291年	2292年	2293年	2294年	2295年	2296年	2297年	2298年	2299年	2300年	2301年	2302年	2303年	2304年	2305年	2306年	2307年	2308年	2309年	2310年	2311年	2312年	2313年	2314年	2315年	2316年	2317年	2318年	2319年	2320年	2321年	2322年	2323年	2324年	2325年	2326年	2327年	2328年	2329年	2330年	2331年	2332年	2333年	2334年	2335年	2336年	2337年	2338年	2339年	2340年	2341年	2342年	2343年	2344年	2345年	2346年	2347年	2348年	2349年	2350年	2351年	2352年	2353年	2354年	2355年	2356年	2357年	2358年	2359年	2360年	2361年	2362年	2363年	2364年	2365年	2366年	2367年	2368年	2369年	2370年	2371年	2372年	2373年	2374年	2375年	2376年	2377年	2378年	2379年	2380年	2381年	2382年	2383年	2384年	2385年	2386年	2387年	2388年	2389年	2390年	2391年	2392年	2393年	2394年	2395年	2396年	2397年	2398年	2399年	2400年	2401年	2402年	2403年	2404年	2405年	2406年	2407年	2408年	2409年	2410年	2411年	2412年	2413年	2414年	2415年	2416年	2417年	2418年	2419年	2420年	2421年	2422年	2423年	2424年	2425年	2426年	2427年	2428年	2429年	2430年	2431年	2432年	2433年	2434年	2435年	2436年	2437年	2438年	2439年	2440年	2441年	2442年	2443年	2444年	2445年	2446年	2447年	2448年	2449年	2450年	2451年	2452年	2453年	2454年	2455年	2456年	2457年	2458年	2459年	2460年	2461年	2462年	2463年	2464年	2465年	2466年	2467年	2468年	2469年	2470年	2471年	2472年	2473年	2474年	2475年	2476年	2477年	2478年	2479年	2480年	2481年	2482年	2483年	2484年	2485年	2486年	2487年	2488年	2489年	2490年	2491年	2492年	2493年	2494年	2495年	2496年	2497年	2498年	2499年	2500年	2501年	2502年	2503年	2504年	2505年	2506年	2507年	2508年	2509年	2510年	2511年	2512年	2513年	2514年	2515年	2516年	2517年	2518年	2519年	2520年	2521年	2522年	2523年	2524年	2525年	2526年	2527年	2528年	2529年	2530年	2531年	2532年	2533年	2534年	2535年	2536年	2537年	2538年	2539年	2540年	2541年	2542年	2543年	2544年	2545年	2546年	2547年	2548年	2549年	2550年	2551年	2552年	2553年	2554年	2555年	2556年	2557年	2558年	2559年	2560年	2561年	2562年	2563年	2564年	2565年	2566年	2567年	2568年	2569年	2570年	2571年	2572年	2573年	2574年	2575年	2576年	2577年	2578年	2579年	2580年	2581年	2582年	2583年	2584年	2585年	2586年	2587年	2588年	2589年	2590年	2591年	2592年	2593年	2594年	2595年	2596年	2597年	2598年	2599年	2600年	2601年	2602年	2603年	2604年	2605年	2606年	2607年	2608年	2609年	2610年	2611年	2612年	2613年	2614年	2615年	2616年	2617年	2618年	2619年	2620年	2621年	2622年	2623年	2624年	2625年	2626年	2627年	2628年	2629年	2630年	2631年	2632年	2633年	2634年	2635年	2636年	2637年	2638年	2639年	2640年	2641年	2642年	2643年	2644年	2645年	2646年	2647年	2648年	2649年	2650年	2651年	2652年	2653年	2654年	2655年	2656年	2657年	2658年	2659年	2660年	2661年	2662年	2663年	2664年	2665年	2666年	2667年	2668年	2669年	2670年	2671年	2672年	2673年	2674年	2675年	2676年	2677年	2678年	2679年	2680年	2681年	2682年	2683年	2684年	2685年	2686年	2687年	2688年	2689年	2690年	2691年	2692年	2693年	2694年	2695年	2696年	2697年	2698年	2699年	2700年	2701年	2702年	2703年	2704年	2705年	2706年	2707年	2708年	2709年	2710年	2711年	2712年	2713年	2714年	2715年	2716年	2717年	2718年	2719年	2720年	2721年	2722年	2723年	2724年	2725年	2726年	2727年	2728年	2729年	2730年	2731年	2732年	2733年	2734年	2735年	2736年	2737年	2738年	2739年	2740年	2741年	2742年	2743年	2744年	2745年	2746年	2747年	2748年	2749年	2750年	2751年	2752年	2753年	2754年	2755年	2756年	2757年	2758年	2759年	2760年	2761年	2762年	2763年	2764年	2765年	2766年	2767年	2768年	2769年	2770年	2771年	2772年	2773年	2774年	2775年	2776年	2777年	2778年	2779年	2780年	2781年	2782年	2783年	2784年	2785年	2786年	2787年	2788年	2789年	2790年	2791年	2792年	2793年	2794年	2795年	2796年	2797年	2798年	2799年	2800年	2801年	2802年	2803年	2804年	2805年	2806年	2807年	2808年	2809年	2810年	2811年	2812年	2813年	2814年	2815年	2816年	2817年	2818年	2819年	2820年	2821年	2822年	2823年	2824年	2825年	2826年	2827年	2828年	2829年	2830年	2831年	2832年	2833年	2834年	2835年	2836年	2837年	2838年	2839年	2840年	2841年	2842年	2843年	2844年	2845年	2846年	2847年	2848年	2849年	2850年	2851年	2852年	2853年	2854年	2855年	2856年	2857年	2858年	2859年	2860年	2861年	2862年	2863年	2864年	2865年	2866年	2867年	2868年	2869年	2870年	2871年	2872年	2873年	2874年	2875年	2876年	2877年	2878年	2879年	2880年	2881年	2882年	2883年	2884年	2885年	2886年	2887年	2888年	2889年	2890年	2891年	2892年	2893年	2894年	2895年	2896年	2897年	2898年	2899年	2900年	2901年	2902年	2903年	2904年	2905年	2906年	2907年	2908年	2909年	2910年	2911年	2912年	2913年	2914年	2915年	2916年	2917年	2918年	2919年	2920年	2921年	2922年	2923年	2924年	2925年	2926年	2927年	2928年	2929年	2930年	2931年	2932年	2933年	2934年	2935年	2936年	2937年	2938年	2939年	2940年	2941年	2942年	2943年	2944年	2945年	2946年	2947年	2948年	29
----	-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	--	-------	--	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	----

[illegible]

【位置決め撮影と治療計画】

A Canon MRI scanner in a clinical setting. A patient is lying on the table, which is positioned inside the scanner's bore. The scanner is white and has the Canon logo on top. The room has a wooden floor and a white wall.

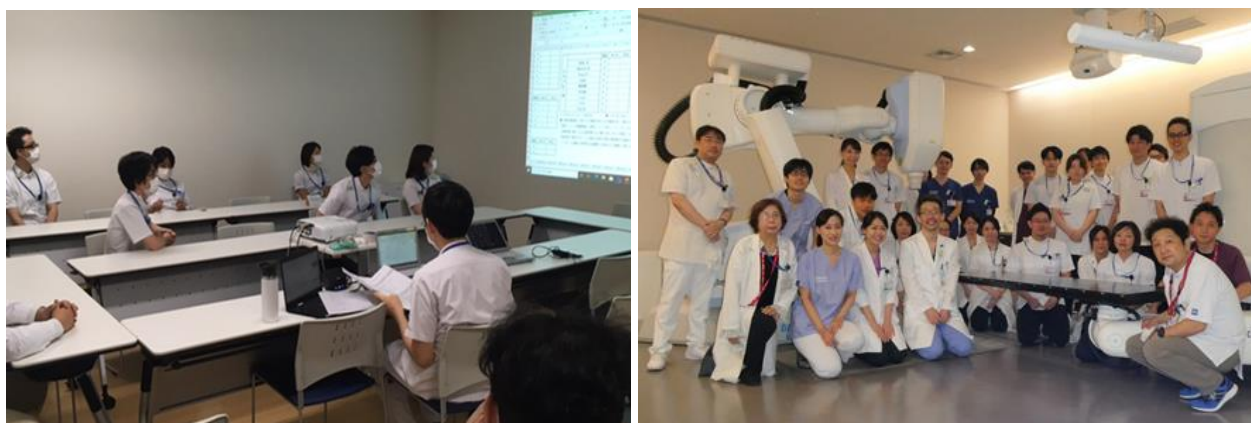
【位置照合と照射治療】

画像誘導装置を有する最新の放射線治療システムを導入しており、計画された位置に正確に照射を行うための技術について学ぶことができます。定位照射や全身照射、密封小線源 治療やホウ素中性子捕捉療法、陽子線治療など特殊な治療にも携わることができます。



【ペイシエントケアとチーム医療】

治療中は患者を継続的に観察し、大きな変化を認識、適切な判断を行うことが必要となります。他の専門職との連携や患者が安心して治療が行えるよう治療内容の説明、副作用について助言ができるよう実践を通して学ぶことができます。



【放射線治療機器等の品質保証と管理】

高精度放射線治療を正確かつ安全に実施するためには、患者ごとの検証や定期的な装置の品質管理が不可欠となっています。各装置の安定性と精度を評価するため精度管理プログラムを構築し、実施しています。検証方法や測定手法を習得することができます。



【医療安全と放射線安全管理】

放射線治療装置を使用するには関係法規に従って運用しなければなりません。法律に基づき、公衆や職員に対する放射線障害防止について監督し、放射線管理区域の管理、教育訓練を実施しています。



ひとりの患者に対して多くの職種が関わり業務の細分化が進んでいます。各職種の領域を超えて理解し共有するために、多職種による放射線治療工程研修を実施しています。目標が設定された人材育成プログラムを活用し、新たなスキルの習得、自己成長を支援します。



Q&A

Q：研究や学会活動について教えてください。

A：学会への参加や論文発表を推奨しています。積極的に参加する事で知識が広がり、自身の研究テーマを見つける機会を得ることができます。経験豊富なスタッフが学会発表を支援します。

Q：3年間の診療放射線技師レジデント終了後の進路は？

A：さらに専門性を高めるために、2年間のがん専門修練診療放射線技師制度に進むことができます。採用試験はありますが、3つの各修練コースを自主的に選択し、より高度な知識と技術を習得した技師を目指します。

新人レジデントインタビュー

●1年目のレジデントにインタビュー

Q：国立がん研究センターレジデントに申し込んだ理由は何ですか。

A：日本最多の放射線治療件数を誇るため、放射線治療技術を身につけるのに最適だと思ったからです。また、他院では珍しい症例も治療していると思ったからです。

Q：職場の雰囲気はどうですか。

A：技師の先輩方はもちろん、他職種の方も優しく、仕事がしやすい環境です。
アットホームな雰囲気で相談等も気軽にできます。

募集要項 診療放射線技師レジデント

1. 応募資格

大学（放射線技術・医理工系課程）卒業以上の診療放射線技師免許取得者、
専門学校卒業で採用時点の社会人経験が1年以上の診療放射線技師免許取得者、
または、2026年(令和8年)3月大学卒業見込みで診療放射線技師免許取得見込み
の者

2. 募集人数

- ・中央病院 2名
- ・東病院 2名

3. 募集締め切り

2025年(令和7年)9月30日（火曜日）消印有効

4. 出願手続

※ 出願に際し禁止事項として、中央病院・東病院の併願は受け付けません。

・中央病院

放射線治療研修コースに応募される方は下記あてに郵送してください。

郵便番号：104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター 中央病院人材育成センター 専門教育企画室

注：封筒の左隅に「診療放射線技師レジデント願書（放射線治療研修
コース）」と朱書してください。

・東病院

総合診療研修コースに応募される方は下記あてに郵送してください。

郵便番号：277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター 東病院人材育成センター 専門教育企画室

注：封筒の左隅に「診療放射線技師レジデント願書（総合診療研修
コース）」と朱書してください。

5. 選考方法

書類審査、筆記試験および面接試験

なお、応募者が多数の場合は書類にて一次選考を行います。

注：一次選考通過者には、面接試験の案内を通知いたします。

（一次選考を通過しなかった場合もその旨を通知いたします。）

6. 選考日時

- ・中央病院

2025 年(令和 7 年)10 月 16 日 (木曜日) 午前 10 時から (予定)

- ・東病院

2025 年(令和 7 年)10 月 29 日 (水曜日) 午前 11 時 00 分から (予定)

7. 選考会場

- ・中央病院

国立がん研究センター 中央病院会議室

東京都中央区築地 5-1-1

- ・東病院

国立がん研究センター 東病院会議室

千葉県柏市柏の葉 6-5-1

8. 合格発表

2025 年(令和 7 年)11 月中旬

注：採否は電子メールにて通知いたします。

電話でのお問い合わせには対応いたしません。

9. 身分

常勤職員（診療放射線技師レジデント）

10. 処遇等

- ・給与

診療放射線技師レジデントの規程に基づき支給されます。

(月額) 1 年目 271,400 円、2 年目 276,400 円、3 年目 281,800 円

- ・手当

賞与（月給 1 ヶ月分/年間）、住居手当（最大 28,000 円/月）、通勤手当 等

- ・勤務時間

8 時 30 分から 17 時 15 分まで

- ・保険

社会保険（厚生年金・健康保険・雇用保険）に加入します。

- ・宿舎

(中央病院) 単身者用の宿舎（有料）を空き状況により利用可能です。

(東病院) 単身者用の宿舎（有料）を空き状況により利用可能です。

- ・修了

所定の研修修了時に修了証書を交付します。

11. Web 説明会

- ・中央病院：2025年（令和7年）7月3日（木曜日）午後5時30分から開催予定
- ・東病院：2025年（令和7年）6月27日（金曜日）午後5時30分から開催予定

募集要項 がん専門修練診療放射線技師

1. 応募資格

- 1) 2026年（令和8年）4月1日時点で原則として3年以上のがん領域における臨床経験を有する者
- 2) ただし、放射線治療コースについては3年以上の放射線治療経験を有する者

2. 募集人数

- ・中央病院 2名
- ・東病院 2名

3. 募集締め切り

2025年（令和7年）9月30日（火曜日）消印有効

4. 出願手続

下記あてに郵送してください。

郵便番号：104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター 中央病院人材育成センター 専門教育企画室

注：封筒の左隅に「がん専門修練診療放射線技師」と朱書してください。

郵便番号：277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立がん研究センター 東病院人材育成センター 専門教育企画室

注：封筒の左隅に「がん専門修練診療放射線技師」と朱書してください。

5. 選考方法

書類審査、筆記試験および面接試験

なお、応募者が多数の場合は書類にて一次選考を行います。

注：一次選考通過者には、面接試験の案内を通知いたします。

（一次選考を通過しなかった場合もその旨を通知いたします。）

6. 選考日時

- ・中央病院

2025 年(令和 7 年)10 月 16 日 (木曜日) 午前 10 時から (予定)

- ・東病院

2025 年(令和 7 年)10 月 29 日 (水曜日) 午前 11 時から (予定)

7. 選考会場

- ・中央病院

国立がん研究センター 中央病院会議室

東京都中央区築地 5-1-1

- ・東病院

国立がん研究センター 東病院会議室

千葉県柏市柏の葉 6-5-1

8. 合格発表

2025 年(令和 7 年)11 月中旬

注：採否は電子メールにて通知いたします。

電話でのお問い合わせには対応いたしません。

9. 身分

常勤職員（がん専門修練診療放射線技師）

10. 処遇等

- ・給与

がん専門修練診療放射線技師の規程に基づき支給されます。

(月額) 1 年目 287,500 円、2 年目 293,200 円

- ・手当

賞与（月給 1 ヶ月分/年間）、住居手当（最大 28,000 円/月）、通勤手当 等

- ・勤務時間

8 時 30 分から 17 時 15 分まで

- ・保険

社会保険（厚生年金・健康保険・雇用保険）に加入します。

- ・宿舍

(中央病院) 単身者用の宿舍（有料）を空き状況により利用可能です。

(東病院) 単身者用の宿舍（有料）を空き状況により利用可能です。

- ・修了

所定の研修修了時に修了証書を交付します。

11. Web 説明会

- ・中央病院：2025年（令和7年）7月3日（木曜日）午後5時30分から開催予定
- ・東病院：2025年（令和7年）6月27日（金曜日）午後5時30分から開催予定